

令和5年版環境白書

第1章 人と自然との共生の確保

2. 自然とのふれあいの推進

(1) 自然とのふれあいの増進

② 三瓶自然館サヒメルや宍道湖自然館ゴビウス、しまね海洋館アクアスの適切な整備・運営

(1) 事業目的

三瓶自然館サヒメルや、宍道湖自然館ゴビウス、しまね海洋館アクアスなどの自然体験学習の拠点施設を整備し、自然とのふれあいを推進します。

(2) 取組状況

① 三瓶自然館サヒメル【自然環境課】

令和4年度の入館者数は、対前年比78.3%、101,733人でした。ビジュアルドーム（プラネタリウム上映施設）の投映機本体において、老朽化が進んできたことから、投影機器等の更新を行いました。また、企画展及びその内容をより深く理解するための関連イベントや、季節毎の自然観察会、体験イベントを開催しました。

② 宍道湖自然館ゴビウス【水産課】

令和4年度の入館者数は、対前年比121.3%、118,390人でした。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、入館者数は前年度に引き続き令和元年度以前を下回りましたが、水辺の生き物に対する興味関心や学習意欲の高揚を図る「体験学習型水族館」として、特別展、季節毎のトピック展示、定例自然観察会、団体向けプログラム、学校等への講師派遣を実施し、自然学習の場を広く提供しました。

③ しまね海洋館アクアス【しまね暮らし推進課】

令和4年度の入館者数は、対前年比136.1%、346,282人でした。展示及び教育プログラムの魅力向上並びに来館者の利便性向上のため、館内に新たに5Gを導入しました。また、水生生物を間近で見ることのできる場を創出し、自然学習の機会を広く県民等に提供する施設として、特別企画展、季節毎の水槽展示、学校等の教育活動の受入（来館）、磯や川での生物観察における講師派遣等を実施しました。

【担当課】

所属名	問い合わせ先
(主) 自然環境課	0852-22-5724
水産課	
しまね暮らし推進課	